

お電話に
もう一工夫

折角なのでもう少し強調には?



市政羅針盤

市長が自ら、市政運営の方針を分りやすくお伝えします。 ㊟秘書課 ☎36-7117

今月のテーマ 全国をリードする島田市の「フードバンク事業」

皆さんは、「フードバンク事業」という言葉を聞いたことがありますか。品質に問題はないものの、やむなく消費しきれなかった食料品を市民・企業・スーパーなどから無償で提供いただき、行政や社会福祉協議会、支援団体などを通じて食べる物に困っている人たちへお渡しする活動のことです。

市役所にフードバンク回収ボックスを置いたのは、島田市が全国初（平成27年8月）であり、現在は各支所・公民館にも設置しています。お米を何俵も届けてくださる人、お歳暮などの贈答品を箱ごと入れてくださる人など、日々、多くの市民の善意が寄せられています。



回収ボックス

回収ボックスに寄贈された食料品は、認定NPO「フードバンクふじのくに」に県内各地から集まった各種食品と一緒に集められます。その後、必要としている人の状況に合わせた組み合わせにして、福祉課または市社会福祉協議会を通じて手渡しています。具体的には、米・乾麺・調味料・缶詰・レトルト食品などをセットにし、さらに子どものいる家庭には、お菓子を加えて配付しています。

平成29年度には、市内345件の依頼に対し、重量にして7,272kgの食料支援を行いました（「しまだ夏休み子ども食料支援事業」を含む）。子育て応援課での相談や、生活困窮相談の中で制度を紹介されて、支援を受け始めるケースが多いようです。さらに、食料支援のやり取りを通じて信頼関係が築かれ、生活上の困りごとなどまで話してもらえるようになり、結果として、生活困窮者自立支援

相談や医療制度、生活費貸付制度の利用などにまでつながられたこともあります。

私は、島田市のこうした取り組みを一人でも多くの市民に知ってもらいたいと思っています。市では平成28年度に、フードバンクをPRするラジオドラマを制作するなど、呼び掛けを行ってきました。皆さんもぜひ、身近に困っている人がいたら「フードバンク事業があるから相談してみて」と紹介してください。それが、「SOSの声」を上げるきっかけになります。



フードバンク PR ドラマの収録

不安定な現代社会の中では、誰も生活が一変してしまう可能性を秘めています。島田市で暮らす人たちが、食料に困らないようにするにはどうしたらよいか、私たちと一緒に考えてください。皆さんのご家庭に余剰食料品がある場合は、フードバンクにぜひご協力をお願いいたします。

フードバンク事業を利用した人がそれをきっかけに、他の制度も利用したり、周りからの支援も受けられるようになったりし、「結果的に生活全般が改善された」となるように、市としてもより一層、きめ細かな対応に努めてまいります。

今後も、フードバンク事業が末長く続き、地域に根ざしたものとなるよう、皆さんのご協力をお願いいたします。
※穀類、保存食品など常温で保存が効くもの、賞味期限が2カ月以上あるもの、未開封・破損していないものなどが該当。
(フードバンク事業について ㊟福祉課 ☎36-7158)

「広報ひみ」から

姉妹都市である富山県氷見市から寄せられたイベント情報などををご紹介します。

氷見市では、全国の中学生が憧れ、目標とする大会を目指し「春の全国中学生ハンドボール選手権大会＝春中ハンド」を、平成17年度から継続開催しています。今や、全国のハンドボールを志す中学生たちが「春は氷見へ」と想いを定め、氷見市が「ハンドボールのまち」として浸透してきています。



今年は3月23日(土)～27日(水)に、

氷見市ふれあいスポーツセンターをメイン会場にして14回目となる大会を開催します。初日には、さまざまなオープニングイベントを楽しめます。また、ハンドボールを基にした氷見市発のゆるスポーツ「ハンぎょボール」大会も開催予定です。多くの皆さんのご来場をお待ちしています。詳しくは、大会ホームページをご覧ください(内容が決まり次第、順次更新)。

㊟春の全国中学生ハンドボール選手権大会
氷見市実行委員会事務局 ☎0766-74-8502

